

岩手山

○概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・噴煙活動（図2）

遠望観測（監視カメラ：黒倉山山頂から北へ約8km）では、黒倉山山頂の噴気の高さは、50m以下で低調な状態が続いています。

・地震活動（図3～図5）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

東岩手山（岩手山東側～山頂、鬼ヶ城付近）では、浅い所を震源とする高周波地震は、少ない状態が続いています。山頂東側の海面下10km前後が震源と思われる低周波地震は、少ない状態が続いています。
また、西岩手山（大地獄谷～黒倉・姥倉・犬倉山）、岩手山西側（小松倉～三ツ石山）でも、火山性地震の少ない状態が続いています。

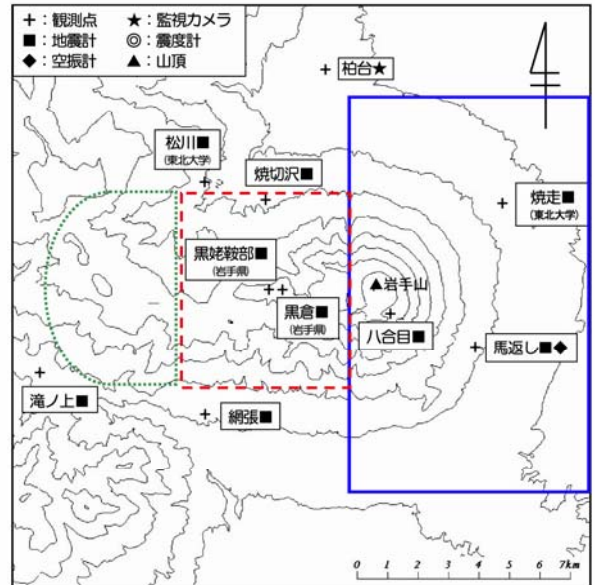


図1** 岩手山 観測点配置図

- 東岩手山（岩手山東側～山頂、鬼ヶ城付近）
- 西岩手山（大地獄谷～黒倉・姥倉・犬倉山）
- 岩手山西側（小松倉～三ツ石山）

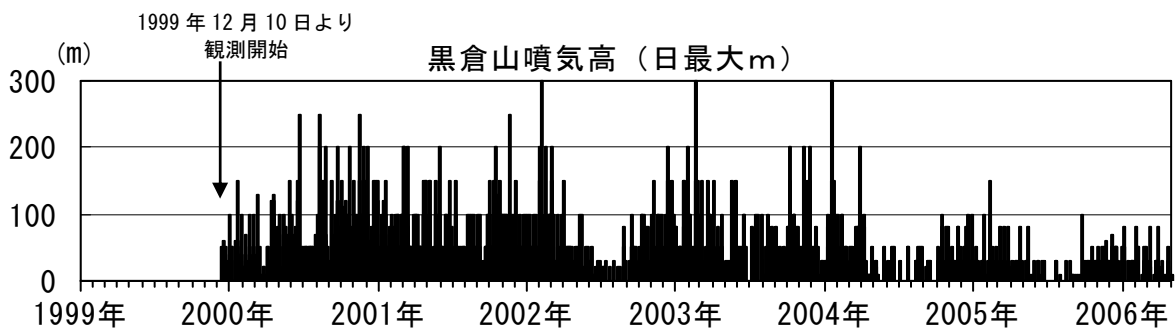


図2 岩手山 日最大噴気の高さ（黒倉山）

（1999年12月10日～2006年4月）

気象台の柏台監視カメラは1999年12月10日より観測開始。

※ 資料は気象庁のデータの他、東北大学のデータを利用して作成。

※※ 本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用したものである。（承認番号 平17総使、第503号）

◎岩手山の日別地震回数

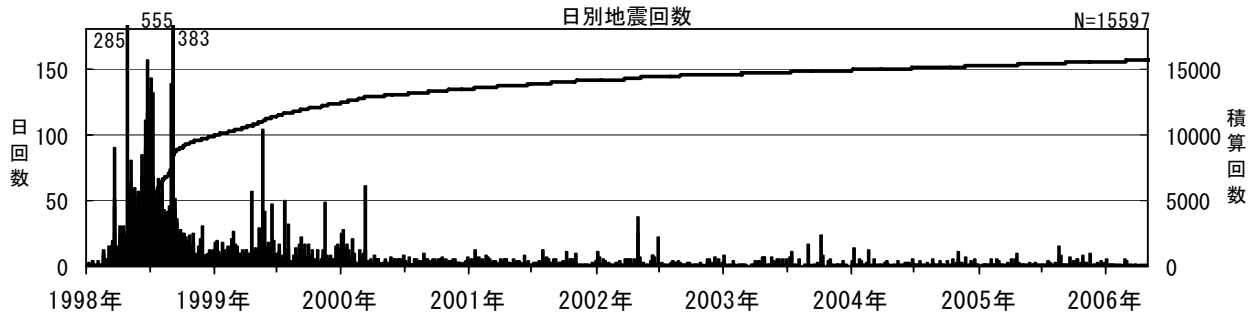
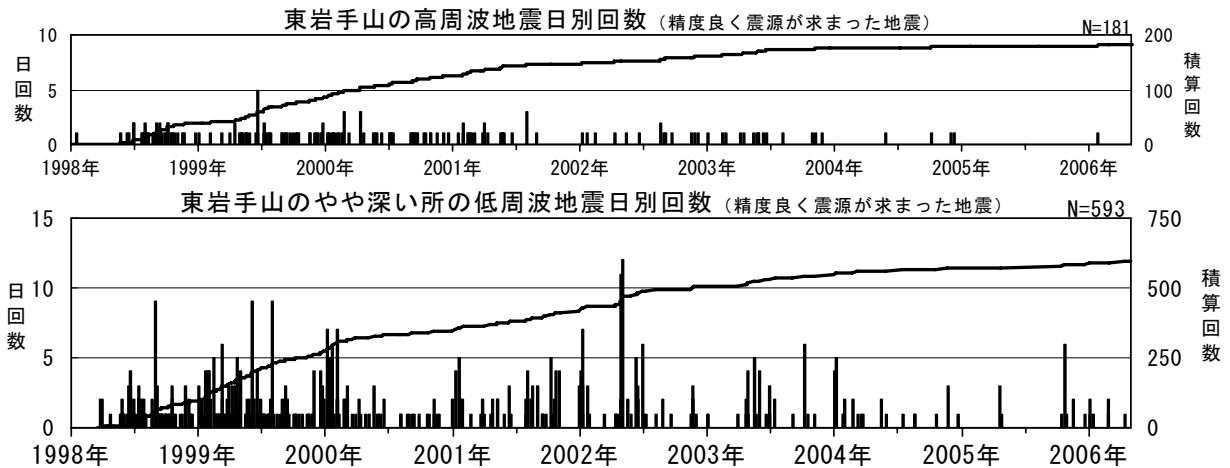


図3※ 岩手山 日別地震回数
(1998年1月～2006年4月)

注) 2006年1月1日より地震回数の基準点を、東北大学松川観測点（計数基準：S-P時間2秒以内）から気象台焼切沢観測点（計数基準：振幅0.05mkine以上でS-P時間2秒以内）に変更した。
2000年1月以降は、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した地震回数
(1998年から1999年までは、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を含む)

◎東岩手山の地震(図1青枠)



◎西岩手山の地震(図1赤枠)

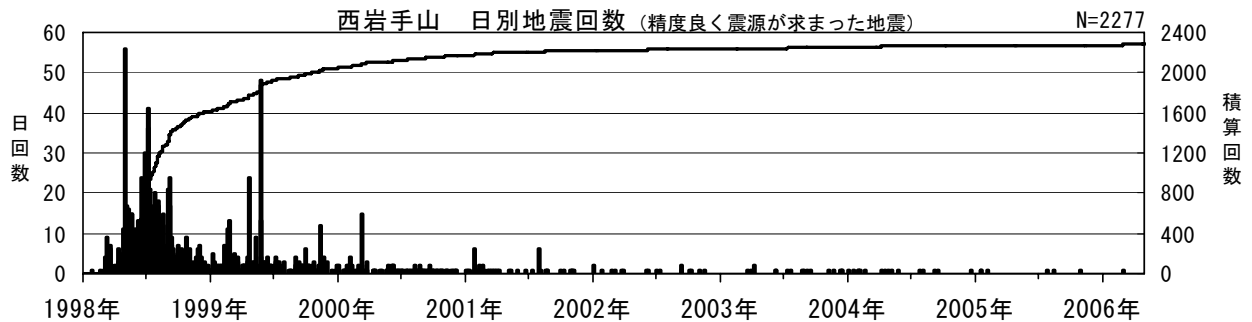


図4※ 東岩手山、西岩手山 日別地震回数
(1998年1月～2006年4月)

◎岩手山の日別微動回数

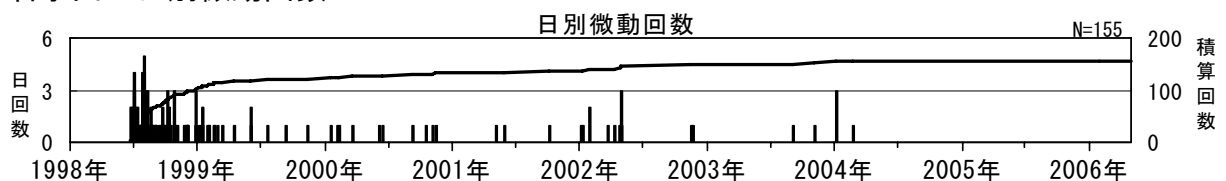


図5※ 岩手山 日別微動回数
(1998年1月～2006年4月)